

# 仲間になろう

# 仲間をつくろう

もっと家族と  
過ごす時間が  
欲しいな…

もっと  
社会や地域を  
よくしたいな…

もっと  
働きがいをもって  
仕事がしたいな…

## 電

力総連は、組合員とその家族の「より充実した、より豊かな人生」を創り出すため労働条件向上の取り組みはもとより、国民のライフラインを守る基幹産業である電力関連産業で働く者として、その社会的な使命を果すため、仲間の連帯の輪を強め一体となって行動するとともに、自由・平等・公正で平和な社会を実現するため、政治活動や社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

電力関連産業を取り巻く環境は、電力自由化が段階的に拡大され「競争の時代」に入るとともに、近年では、地球温暖化防止を目的とした「低炭素社会」の実現が求められるなど、極めて厳しいものとなってきています。しかしながら、このような時代だからこそ、同じ職場で働くひとりでも多くの仲間が力を結集し、こころをひとつにして諸課題に果敢に挑戦していくことが何よりも大切なことだと考えています。

私たちは、電力関連産業のすべての職場に「労働組合」をつくり、電力総連に加盟していただくための活動を強力に進めています。

一人ひとりが大切にされ、生活しやすい社会をつくるため、あなたと職場の仲間のみなさんが、電力総連の仲間になっていただけることを心からお待ちしています。



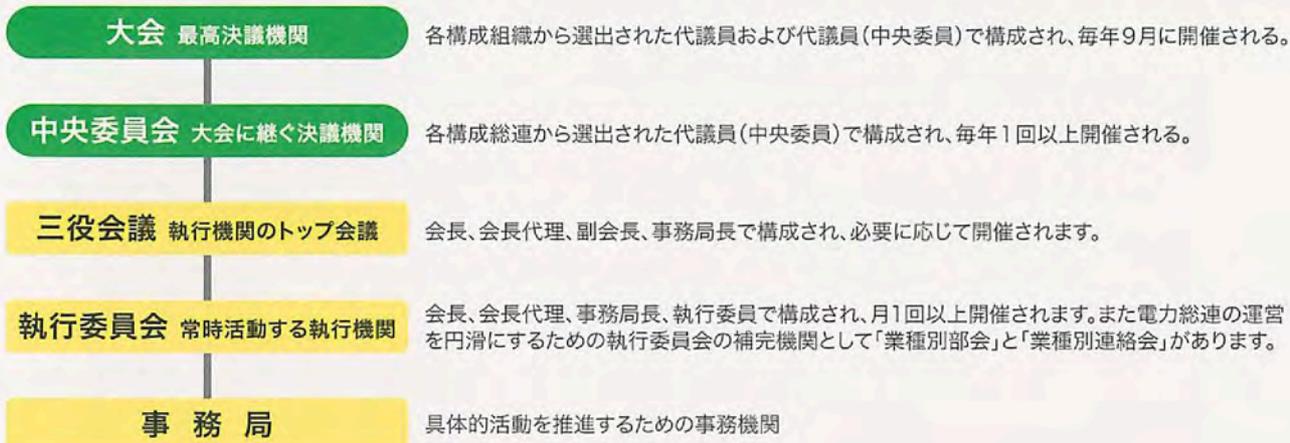
## 治 革

- 1969 ▶ 4月11日 全国電労協(全国電力関連産業労働組合協議会)の結成大会  
9地方電労協(地方組織)108組合、178,742名
- 1981 ▶ 3月26日 電力総連(全国電力関連産業労働組合総連合)の結成大会  
4つの全国組織と10の地方電力総連で構成、129組合209,523名のエネルギー産業に働く労働者を代表する組織を結成
- 1987 ▶ 11月20日 全日本民間労働組合連合会(連合)の結成  
62産業別組織555万名を結集
- 1989 ▶ 11月21日 日本労働組合連合会(連合)の結成  
78産業別組織800万名を結集。官公庁部門を含めて統一、名実ともに日本唯一のナショナルセンター
- 1993 ▶ 9月8日 電力総連第13回大会(単一産別化)  
連合における活動に十分に対応するために4つの業種別全国組織を解散。10の地域別組織と2つの職域組織、197組合24万5千名でスタート。連合の中では9番目の規模、日本の電力エネルギー産業を代表する組織となる
- 1996 ▶ 9月5日 電力総連・全電力統一大会  
1954年以降電力関連産業内で別々の活動をしてきた両組織は、40年以上にわたる歴史を乗り越え産業別統一を果たす、224組合259,380名

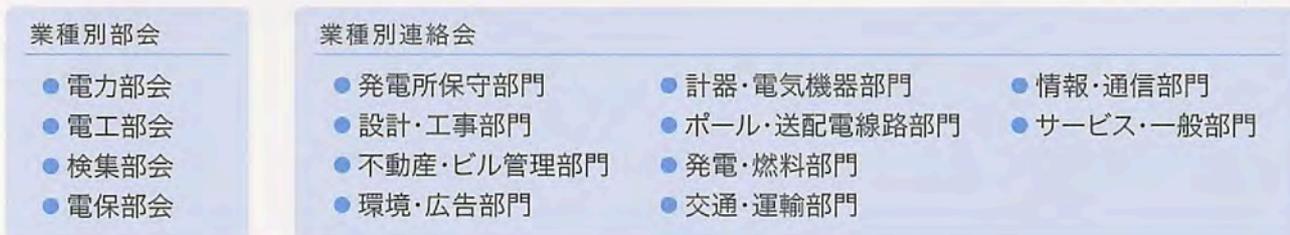
## 電力総連綱領

1. 私たちは、電力関連産業に働く仲間の連帯の輪を強め、組合員が一体となり行動していきます。
2. 私たちは、総合的な労働条件の向上により組合員とその家族の幸せの拡大をはかります。
3. 私たちは、労働組合としての自主性を守り、組合民主主義に基づいた活力ある組合を確立します。
4. 私たちは、自由にして民主的な労働団体と広く連帯をはかり、働く人々の経済的・社会的地位の向上をはかるとともに、社会に貢献していきます。
5. 私たちは、自由・平等・公正で平和な社会を目指すとともに、世界の働く人々と連携して世界平和の確立に努めます。

## 機 関



## 業種別部会・業種別連絡会

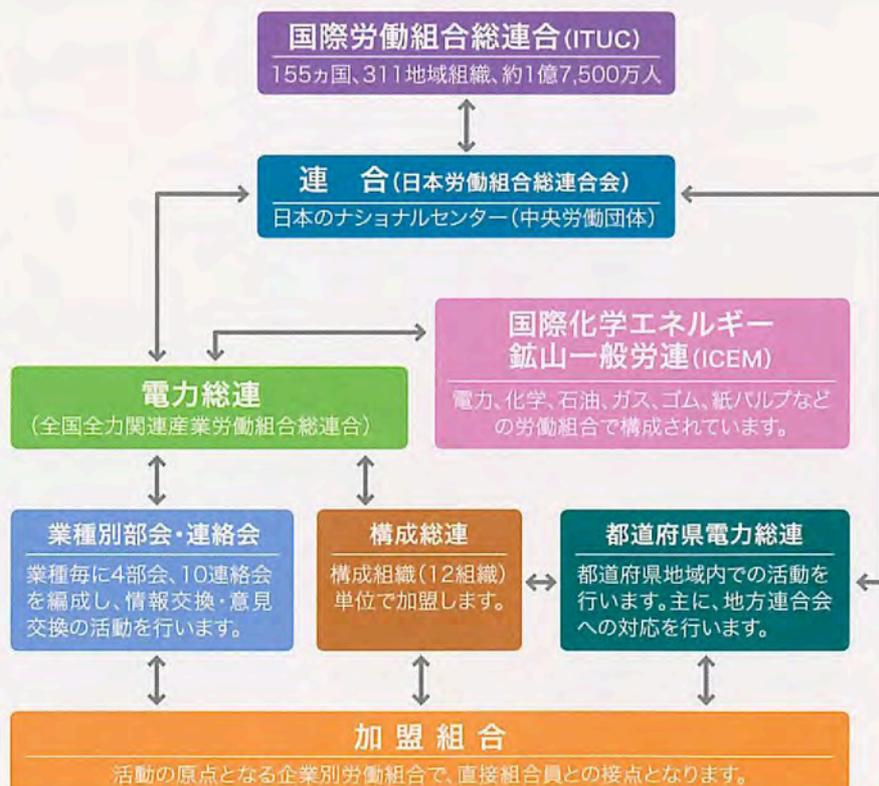


## 外部組織・機関との関係

電力総連は、全国12の構成総連によって組織され、日本の労働組合のナショナル・センター「連合」の中核組織として活躍しています。

また、「連合」を通じ「国際労働組合総連合(ITUC)」に加盟、国際連帯の強化を目指し、世界の平和と繁栄に貢献する活動に積極的に取り組んでいます。

さらに、「国際化学エネルギー鉱山一般労連(ICEM)」にも加盟しています。



働く仲間の生活を  
サポートする  
さまざまな活動



安全で衛生的な職場づくりや電力  
関連産業の健全な発展、国民生活  
の向上をめざした政策活動



組織の拡大・充実を図るための  
調査・広報活動や組合員の教育  
活動など



春季生活闘争をはじめと  
する総合的労働条件の  
維持・向上



電力総連共済制度、  
年金制度の拡大・充実



政治への責任ある参画を通して  
「豊かでゆとりある暮らし」の実  
現を図るための政治活動など



電力生協の充実など



海外友誼組織との交流、海外研修など



国際貢献や地域との共生を  
めざした社会貢献活動など

## なぜ労働組合が必要なのか

### より充実した人生を求めて

毎日の生活の中で「もっと働きがいを持って仕事をしたい」「もっと家族と過ごす時間が欲しい」「もっと充実した人生を送りたい」と感じたことがあったなら、自らの生活の現状をみつめながら労働組合の必要性について、じっくり考えてみて下さい。なぜなら、労働組合は、一人ひとりの「より充実した、より豊かな人生」を創り出すために仲間が集まっているものだからです。

### 働きがいのある明るい職場をつくる

働きがいのある明るい職場とは、「①安定・安心して働ける ②自分の意見を自由に発言できる ③仕事に喜びや誇り・希望が持てる ④まじめに努力する者が報われる」職場です。このような職場をつくるには、一人ひとりがバラバラで実現できるでしょうか。あなたが働く企業には仕事を遂行するための組織はありますが、その組織だけで働きがいのある明るい職場が実現できるでしょうか。答えは、ノーです。そこで企業組織と対になる労働組合が必要となるのです。

### 労働組合は雇用を守る

好況の時は無計画に雇入れ、景気が悪くなると人員整理、などということを繰り返されたらたまりません。労働組合がないと、万一、解雇者が出て個人が泣き寝入りになりがちです。「一人ひとりではできないことを、労働組合が実現し、働く者の雇用と生活を守る」これが労働組合の最も大切な役割なのです。

### 賃金・労働条件の向上を実現する

最近「労働組合がなくても賃金には大差がないのだから組合費を取られないだけ得だ」と考えている人もいますが、これは大きな間違いです。賃金体系が不合理だったり、あるいは総実労働時間や福祉厚生・退職金などの面で、労働組合がある企業と比較すると大きな格差がついているのです。さらに、労使が強い信頼関係で結ばれた企業は、業績向上に結びつき持続的に発展していくことになります。労働組合は、その成果配分として労働条件を改善し向上させていくのです。

## 労働組合の正しいあり方とは

### 自主的に団結・運営する

労働組合は、働く者が自主的に団結して、自主的に運営するというのが基本です。これは、経営者や政党が労働組合をつくるものではなく、その運営にも干渉しないということです。当たり前の原則のようですが、実際にはそう簡単ではありません。自主的な団結・運営という原則は、形式や手続きだけの問題ではなく、すべての活動をつらぬくべきものであり、みんなで守り育てていかなければならない大切なものです。

### 働く者の幸せ拡大が目的

労働組合の目的は、労働条件を改善し向上させていくことはもちろんのこと、心豊かに安心して生活ができるよう、真に働く者の幸せを追求し、それを拡大させていくものでなければなりません。

### 組合民主主義を貫く

労働組合は、働く者一人ひとりを大切にします。働く人を大切にすることは、組合運営を民主的に行うことによって実現できます。私たちは、話し合いを大切にし、みんなのために、みんな決めてみんなで実行することを原則にしています。

### 労働組合活動は憲法で保障され、法律で守られています

#### 労働三法

- 労働組合法 憲法で保障されている労働三権(団結権、団体交渉権、団体行動権)について具体的に規定した法律。経営者と対等な立場で、労働条件の維持・改善を交渉する権利などを規定している。
- 労働基準法 賃金・労働条件などについての最低限の基準を決めた法律。これ以下の労働条件では経営者は雇用できない。
- 労働関係調整法 むやみにストライキが行われないようにし、もし行われた場合は、早期に解決できるようにするなど、組合と会社の正常な関係を維持するための法律。

## 構成組織

電力総連は、10の地域別組織と2つの職域組織で構成されており、220余の単組が加盟しています。

発電、電気設備の工事・保守のほか、交通、情報通信、サービスなど多彩な業種にまたがる全国をネットワークする組織で、日本の電力関連産業における唯一の産業別労働組合です。

- ★ 全国電力総連所在地
- 構成総連所在地



### 全国電力関連産業労働組合総連合

〒108-0073 東京都港区三田2-7-13 TDS三田3階 TEL. 03-3454-0231 FAX. 03-3798-1470  
<http://www.denryokusoren.or.jp>

#### 構成総連

|            |                                     |                   |
|------------|-------------------------------------|-------------------|
| ● 北海道電力総連  | 〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目 北海道勤労文化会館内  | TEL. 011-642-4510 |
| ● 東北電力総連   | 〒980-0822 仙台市青葉区立町20-1 東北電労会館内      | TEL. 022-261-0655 |
| ● 関東電力総連   | 〒105-8550 東京都港区浜松町1-21-2 礎会館2階      | TEL. 03-3459-8588 |
| ● 中部電力総連   | 〒461-0005 名古屋市東区東桜2丁目6-6 中電労会館2階    | TEL. 052-932-2380 |
| ● 北陸電力総連   | 〒930-0017 富山市東田地方町1丁目2-45           | TEL. 076-431-1888 |
| ● 関西電力総連   | 〒530-0052 大阪市北区南扇町1-14 関労会館内        | TEL. 06-6361-0935 |
| ● 中国地方電力総連 | 〒730-0047 広島市中区平野町6-29 電力労働会館内      | TEL. 082-249-7999 |
| ● 四国電力総連   | 〒760-0063 高松市多賀町2丁目12-5             | TEL. 087-862-9722 |
| ● 九州電力総連   | 〒810-0005 福岡市中央区清川2-6-16 ユニティーホール2階 | TEL. 092-522-6156 |
| ● 沖縄電力総連   | 〒901-2131 浦添市牧港5丁目5-16 沖縄電労会館内      | TEL. 098-877-4344 |
| ● 原電総連     | 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町1番地1 美土代ビル2階 | TEL. 03-3233-6881 |
| ● 電発総連     | 〒104-8165 東京都中央区銀座6-15-1            | TEL. 03-3546-9424 |